

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 宝達志水町・羽咋市

1 事業の趣旨・目的

宝達志水町と羽咋市には外国籍住民が230人（宝達志水町137人、羽咋市93人）在住しており、その中でも日本人配偶者においては、日本語の読み書きが不慣れなため、日常生活はもとより、学校や保育所からのお便りが理解できないという方もいます。しかしながら、両市町には日本語教室が1つもない状況であるため、外国籍住民が日本語を学べる場所、気軽に相談できる場所、日本人住民と交流できる場所である日本語教室の設置を目指し、日本語指導者を養成する。

2 運営委員会の開催について

【第1回運営委員会】

開催日時	6月23日（木）13：30～16：00
開催場所	羽咋市文化会館
出席者	12名（宝達志水町職員2名、羽咋市職員2名、県多文化共生推進員4名、輪島市日本語教室講師1名、県観光交流局1名、県国際交流協会2名）
議題	日本語指導者養成講座の開催について
会議の概要	・日本語教室のある輪島市日本語教室講師からのアドバイス ・日本語指導者養成講座の開催時期、場所、募集方法等について協議 

【第2回運営委員会】

開催日時	11月25日（金）18：30～21：00
開催場所	羽咋市文化会館
出席者	15名（宝達志水町職員1名、羽咋市職員1名、 県多文化共生推進員2名、県国際交流協会2名、 受講生9名）
議題	日本語教室の立ち上げについて
会議の概要	・日本語教室を立ち上げるかどうか ・日本語教室の開催日、回数等 ・指導者同士のネットワークづくり

【第3回運営委員会】

開催日時	12月14日（水）19：00～22：00
開催場所	羽咋市文化会館
出席者	5名（宝達志水町職員1名、羽咋市職員1名、県多文化 共生推進員2名、県国際交流協会1名）
議題	日本語教室について
会議の概要	・受講者アンケートの結果報告 ・日本語教室開講に向けて課題 アドバイス等を受ける



3 養成講座の内容について

（1）養成講座名

外国人に日本語を教えたいため基礎講座 in 宝達志水・羽咋

（2）養成講座の目標

日本語教育に携わる人材を育て、日本語を学びたいと考えている在住外国人のために、日本語を学べる場所、気軽に相談できる場所の設置を目標とする。

（3）受講者の総数 25名

（4）開催回数（時間） 15回（45時間）

（5）参加対象者の要件 外国人に対する日本語教育に興味のある方 （外国語能力、教授経験は問わない）

（6）受講者の募集方法 市・町の広報誌、ホームページで告知。 チラシを作成し、各家庭に配布。

(7) 研修会場 羽咋市文化会館

(8) 使用した教材・リソース 講師作成プリント及び参考図書

(9) 講座内容 1回3時間 計15回

日 時	講 座 内 容	講 師	受講者数
9/8(木) 18:30～21:30	多文化共生を考える① 在住外国人についての一般的情報	石川県国際交流協会 星 亨	20名
9/12(月) 18:30～21:30	多文化共生を考える② 日本社会の現状と外国人住民が置かれている状況	石川県国際交流協会 今井 武	23名
9/15(木) 18:30～21:30	多文化共生を考える③ 「言語権」について 外国語学習体験（タガログ語）	石川県国際交流協会 星 亨 石川県多文化共生推進員 西レオノーラ	21名
9/22(木) 18:30～21:30	多文化共生を考える④ これから我々がやろうとしていること	石川県国際交流協会 星 亨	19名
9/26(月) 18:30～21:30	外国語としての日本語Ⅰ 日本語の音声・表記・文法	石川県国際交流協会 星 亨	19名
9/29(木) 18:30～21:30	外国語としての日本語Ⅱ コミュニケーションと社会言語能力	石川県国際交流協会 今井 武	18名
10/3(月) 18:30～21:30	外国語としての日本語Ⅲ 日本語教授法と教室活動	石川県国際交流協会 星 亨	19名
10/6(木) 18:30～21:30	日本語支援者のテクニック（1） 相手の話を聞く 誤用への対応	石川県国際交流協会 今井 武	16名
10/13(木) 18:30～21:30	日本語支援者のテクニック（2） ことば／表現をインプットする （発声、発話速度・・・）	石川県国際交流協会 今井 武	17名
10/17(月) 18:30～21:30	日本語支援者のテクニック（3） 話題の展開	石川県国際交流協会 今井 武	13名
10/21(金) 18:30～21:30	実習①（実際に外国人を招いての教室運営） 自己紹介など	石川県国際交流協会 今井 武	13名

10/28(金) 18:30～21:30	実習② 私の家族、私の住んでいる町など	石川県国際交流協会 星 亨	11名
11/4(金) 18:30～21:30	実習③ 受講生を中心とした教室運営	石川県国際交流協会 星 亨	9名
11/11(金) 18:30～21:30	実習④ 受講生を中心とした教室運営	石川県国際交流協会 星 亨	12名
11/18(金) 18:30～21:30	実習⑤ 受講生を中心とした教室運営	石川県国際交流協会 今井 武	13名

(10) 講座の評価

①受講生に対するアンケート 修了者12名 回答者10名

1. 講座の内容はいかがでしたか？

(ア) 良かった 5名 (イ) まあまあ良かった 5名 (ウ) 普通 0名
(エ) あまり良くなかった 0名 (オ) 全然良くなかった 0名

【理 由】

・最後5回の実際に外国人に日本語を教える実習が長い方が良かった。

2. 講座の期間及び時間について

(ア) 短かった 1名 (イ) ちょうど良かった 5名 (ウ) 普通 3名
(エ) 長すぎる 1名

【理 由】

・時間は良かったが、10・11月は忙しい時期なので、違う時期が良かった
・もう少し回数が多くても良かったと思います（特に実習の回数）
・始まる時間と終了時間は良かった
・期間は適当。1回の時間が長かった

3. 講師・スタッフについて

(ア) 良かった 8名 (イ) まあまあ良かった 2名 (ウ) 普通 0名
(エ) あまり良くなかった 0名 (オ) 全然良くなかった 0名

【理 由】

・今井先生：まとめが上手、星先生：型にはまらない

4. 今後、日本語講師をやりたいですか？

(ア) 講師としてやってみたい 3名 (イ) 助手としてやってみたい 4名
(ウ) わからない 4名 (エ) やらない 0名

【理 由】

- ・自信が持てない
- ・周りの人と協力して、昇進していきたい

5. 日本語教室希望時間帯

(ア) 平日午前 0名 (イ) 平日午後 0名 (ウ) 平日夜 6名
[月曜日2名、火曜日1名、水曜日2名、木曜日1名、金曜日3名]

※複数回答

(エ) 土曜日午前 2名 (オ) 土曜日午後 0名 (カ) 土曜日夜 0名
(キ) 日曜日午前 0名 (ク) 日曜日午後 0名 (ケ) 日曜日夜 1名

6. その他（この講座を終えて感じたこと。ご意見・感想等）

- ・自分の思っていた様な講座とは違い、ちょっとびっくりした。実習では、日本語が少しでも分かっている人との話が多かったので、分からない人だったらどうだったかな？とちょっと心配。
- ・講義の時間と実習の時間を同じ位にしたら良かったと思います。
- ・教科書通りに行かない個人に合わせた授業が面白い反面、難しい。
- ・講師の方にはお世話になりありがとうございました。外国人の方とも楽しい時間を過ごすことができました。皆さんの理解・協力を得て、地域に日本語教室ができることを望みます。

②実施主体からの研修内容結果評価

- ・当初、受講生が集まるか不安だったが、募集をしてみると予想を上回る人数の申し込みがあった。こういう形で集まった方は、国際交流に関心がある人が多く、共通した部分があるのでまとまりがあった。
- ・小さいながらも指導者同士のネットワークができて良かった。このつながりを大切にしていきたい。

③実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

- ・在住外国人のための日本語教室を立ち上げ、日本語教室を支援していく。

(11) 事業の成果

①他事業との連携

- ・この事業のおかげで小規模だが、指導者のグループの輪ができたので

この輪を大切に活かしていきたい。市町の国際交流事業等に興味があればお手伝い、参加していただく。

②研修後の人材活用

- ・在住外国人のために、日本語を学べる場所、相談できる場所として日本語教室を立ち上げる。
- ・企業から日本語教室の開催要望があれば、指導者を派遣したい。
- ・日本語教室で集まったメンバー（指導者&外国人）で日本人と外国人が交流できるようなイベントを開催してみる。

(12) 今後の課題

- ・日本語教室を立ち上げたは良いものの、指導者の都合がつかない、外国人が集まらない、といったような状況になり日本語教室の自然消滅の可能性もありうる。そうならない為にも指導者同士のネットワークを強化し、ほそぼそでも続けていけるような支援・対策が必要。
- ・今回は、多少日本語が話せる外国人を相手に実習を行ってきたが、アンケート結果にもあったが、まったく日本語を話せない方が来た場合、どう教えられるのか指導者も不安だと思う。
- ・企業研修生など在住外国人の多くは移動手段がないため（車の免許がない、市町内の交通手段が発達してない）日本語教室に参加したいが、会場まで行けないという問題もある。
- ・今後、指導者のスキルアップを目的とした講習も必要だと思う。
- ・これまでは、行政が協力しながら運営してきたが、今後、指導者同士で自立し運営していくことができるかが課題である。

【講座の様子】

